

基本目標1 子育てを支援する地域づくり													
(1)情報提供・相談体制の充実													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和2年度評価		
2	子育て支援総合窓口事業 (子ども家庭課)	子どもや保護者が幼稚園や保育所、認定こども園等の施設や地域の子育て支援事業を円滑に利用できるように、情報の収集・提供を行い、必要に応じて相談・助言をするとともに、関係機関との連絡調整を行います。									A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
相談対応件数(延べ)				1,316	↑	↑							
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
窓口や電話相談だけでなく、オンライン相談を活用し、子どもや保護者が状況に応じた幼稚園・保育園等の施設や地域の子育て支援事業を円滑に利用できるよう、情報の収集や提供、助言を行いました。また、相談内容によっては、関係機関と連絡調整し、適切な支援部署・機関につなぎました。						引き続き、オンライン相談等保護者が相談しやすい方法で相談対応と共に、子どもや保護者の状況に即した情報提供や助言ができるよう、情報収集や関係機関との連絡調整を行います。							
(2)地域における子育て支援サービスの充実													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和2年度評価		
8	保育所 (子ども家庭課(保育課))	待機児童数ゼロを達成するため、認可保育所等を整備します。									A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
認可保育所整備数(定員数(3.31時点))		5,697	6,424	7,406	7,930	8,470	待機児童数※翌年度4月1日時点(人)		42	26	0	0	0
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
認可保育所及び小規模保育事業所の施設整備に加えて、保護者のニーズに合った入所案内に努めた結果、令和3年4月1日現在の国基準の待機児童数がゼロとなりました。						コロナ禍における保育所入所ニーズを勘案しながら、引き続き認可保育所及び小規模保育事業所の施設整備に加えて、保護者のニーズに合った入所案内に努めています。							
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和2年度評価		
9	送迎保育ステーション (保育課)	送迎保育ステーションを利用し、市内の保育所まで送迎することにより、待機児童の解消や保育所利用者の利便性の向上を図ります。									A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
送迎保育ステーションの設置数(か所)		2	2	2	2	2	延べ利用数(人)		49,291	45,876	12,236	50,000	20,000
送迎バスの台数		7	8	8	8	8	待機児童数※翌年度4月1日時点(人)		42	26	0	0	0
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
保育園の開設やコロナの影響で利用人数は減少しましたが、引き続き当事業の需要が見込まれることから、安全な移送の確保と保護者の送迎に係る負担軽減が課題となります。新型コロナウイルス感染症対策及び速やかな送迎を行うため、ルートの見直しを行いました。						引き続き感染症対策を徹底して行い、安心・安全な送迎を実施します。昨年と同様に市内2か所の送迎保育ステーションを起点とし、バス8台で市内全域の保育所へ児童を送迎します。							
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和2年度評価		
10	地域子育て支援センター (子ども家庭課)	職員の資質向上を図り、子育てに関する相談、情報の提供、子育てグループの支援や各種サービスの提供など、子育て世帯へのサポートを充実していきます。									A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
子育て支援センター数		15	15	14	16	16	利用者数		57,887	53,336	32,511	57,887	57,824
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
子育て支援センターの見直し等を行い、令和2年度は3支援センターが廃止となりました。また、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、フロア開放の中止、利用時間短縮、人数制限を行ったため、利用者数は減少しました。しかし、子育て支援センター独自に、公園出張を行うなど、新たな取り組みを構築し、子育て世帯へのサポートを行いました。						令和2年度に、引き続き、感染症拡大防止のため、フロア開放の時間や人数の制限を行いながらも、公園出張などの取り組みを行い、子育て世帯へのサポートを充実していきます。また、子育て支援センター研修会を実施し、子育て支援センターの職員の質の向上に努めます。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
15	学童クラブ施設 (教育総務課)	放課後の留守家庭の児童の健全な育成を図るため、学童クラブの充実を図ります。学童需要が大幅に増加する中で、安全な育成支援が提供できる環境を整備していきます。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	
整備後の定員数(人)		2,220	2,540	3,080	3,160	3,240	待機児童数(3月末)(人)		4	6	0	0	0	
整備後の施設数(施設)		30	33	36	36	37								
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
令和2年度においては、元年度から整備を行っている八木北小学校区、おおぐろの森小学校区のほか、南流山小学校区の整備を行いました。今回、整備をした小学校区においては、定員の増加により高学年も含め、入所希望者全員を受け入れることができました。なお、小山小学校区におけるえどがわ学童クラブ(民設民営、定員80名)の撤退により、実績が目標を下回りました。							令和3年度においては、(仮称)小山小学校区第5学童クラブの整備を行います。今後も、児童推計を踏まえた、計画的な施設の整備を行う必要があります。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
17	療育施設 (児童発達支援センター)	障害のある児童の自立支援のため、児童発達支援センターの充実を図ります。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	
つばさ学園 実人数		31	36	36	36	37	つばさ学園 延べ利用人数		6,102	6,734	2,878	6,566	3,960	
児童デイつばさ 実人数		41	52	53	53	54	児童デイつばさ 延べ利用人数		2,308	2,965	1,395	3,456	1,848	
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
発達支援計画書及び個別支援計画書に基づき園児の支援に努めました。新型コロナウイルス感染症のため例年実施してきた保護者への説明会、学習会等の開催中止を余儀なくされました。新型コロナウイルス感染症対策として分散登園を実施するとともに、保護者に家庭内の状況確認の電話連絡や「家庭での取り組み」についての情報提供等を行い保護者支援を図りました。							引き続き新型コロナウイルス感染症対策を講じながら園児の健康を第一に支援を行っていきます。また感染状況をみながら保護者への説明会、学習会等を企画し、支援の充実を図っていきます。							

(3)子育て支援のネットワークづくり

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
20	ファミリーサポートセンター (子ども家庭課)	仕事と育児の両立のため、育児を必要とする市民が育児を提供できる市民から、子育て支援を受けられるファミリーサポートセンター事業を推進します。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	
提供会員数及び両方会員数		549	601	625	↑	↑	活動状況数		6,915	7,695	4,643	7,081	7,164	
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数は減少しました。また、活動説明会も中止となっておりますが、提供会員数及び両方会員数は微増しています。							引き続き、子育て支援の充実を図るために、提供会員数の確保に努めます。また、新たに、LINEを活用して、ファミリーサポートセンター事業の周知を図ります。							

基本目標2 子どもと保護者の健康づくり													
(1)子どもや保護者の健康の確保													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和2年度評価		
34	妊娠・出産・子育てサポート事業 (健康増進課)	子育て世代の流入に伴い、転入者や初妊婦も増えることが見込まれることから、安心して妊娠・出産・子育てができるよう、母子健康手帳交付時に「コウノトリプラン」を一緒に作成します。出産後、心身の不調や育児不安のある母子に対し、「産後ケア」を紹介していきます。子育てなんでも相談室(子育て世代包括支援センター)を中心に、子ども家庭課をはじめ関係機関・団体と連携し、子育てについてのサポートをしていきます。									A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
妊婦面談率(%)		49.8	98.6	99.9	100	100	この地域で今後も子育てをしたい者の割合(%)		95.8	95.3	96.3	96.5	96.5
乳児家庭全戸訪問実施率(%)		93.7	94.4	95.5	100	100	育てにくさを感じた時に対処できる親の割合(%)		81.9	81.4	78	88	88
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
母子健康手帳の交付を保健センター、おおたかの森市民窓口センター、南流山センターの3か所に限定することで、ほぼ全ての方に対し妊婦面談時に「コウノトリプラン」を作成し、必要な支援につなげることができました。コロナウイルス感染症の拡がりに伴い、里帰りが難しくなったり、サポートが得られない等、孤独を抱える妊婦が増えたため、産後ケアや育児支援等サービス助成事業の利用、面談・電話・訪問を通し、きめ細かなサポートを行いました。						令和3年度からは、「産前産後サポート事業」を加え、多胎児を妊娠しているママとそのパートナーを対象に妊娠からの情報提供を始め、多胎児育児経験者との交流をすることにより、負担感や孤立感の解消を図ります。また、支援者のいない妊婦を対象に仲間づくりや、不安解消を目的としたグループの開催を市内の助産院に委託し、実施します。令和4年度の南流山センターの子育て世代包括支援センターの開設に向け、準備を進めていきます。							
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和2年度評価		
36	乳幼児健康診査 (健康増進課)	乳幼児健康診査の充実を図ったことで、疾病や発達障害の早期発見予防といった丁寧な健康診査に努め、子育て中の保護者の孤立化を防ぎます。また、マイナンバーを活用した他市町村との情報連携を行い、未受診者を把握することで、虐待の予防、早期発見に繋がります。 (参考)乳幼児健康診査(3～6か月児、9～11か月児)、3か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査									A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
妊婦一般健診受診率(%)		104	99	101	100	100	1歳6か月児、3歳児健診受診率(%)		97.2	97.4	95.4	97.8	98
3か月児、1歳6か月児、3歳児健診問診票発送数(通)		6,448	6,287	6,752	6,900	7,100	3か月児健診受診率(%)		96.1	95.7	99.4	96.5	99
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
新型コロナウイルス感染拡大を予防し、適切な対象月齢で安心安全に1歳6か月児・3歳児健康診査を受けられるよう、保健センターで行っていた集団健診から、市内協力医療機関で受診する個別健診を含めた内容に変更しました。3歳児健康診査においては、新規検査項目のス波特ビジョンスクリーナーを用いた眼の屈折検査を導入しました。感染予防に備えて、健診方法を早急に変更し、適切な対象月齢で安心安全に実施することができましたが、受診率の低下が見られるため、未受診者への受診勧奨及び訪問を行い、コロナ禍ではありますが、引き続き受診率向上及び全数把握に努めます。						令和3年度についても引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大を予防し、適切な対象月齢で安心安全に1歳6か月児・3歳児健康診査を受けられるよう、健診方法を検討し、実施していきます。また、未受診者への受診勧奨の方法を再検討し、通知内容や訪問時期についても改善することで、引き続き受診率向上及び全数把握に努めます。なお、今年度から新生児聴覚検査の補助を実施します。							
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和2年度評価		
41	養育支援訪問事業・産褥期ヘルパーの情報提供 (子ども家庭課・健康増進課)	【子ども家庭課】産後、親族等の支援が難しい方等を中心に利用できるサービスの情報提供を行うとともに、利用者の適切な支援計画を作成し、安心して産後の生活ができるよう支援します。 【健康増進課】養育支援が特に必要な家庭に対し、専門職等による訪問を実施し、養育に関する指導・助言・必要なサービスの情報提供等を行うことで、保護者等が適切な養育を行えるよう支援していきます。今後は支援体制の見直しを関係機関と行い、事業の充実を図ります。									A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
養育支援訪問実数		15	19	8	→	→	ヘルパーサービス利用実数		1	3	0	→	→
養育支援訪問延数		28	40	35	→	→	ヘルパーサービス利用延べ数		12	17	0	→	→
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、ヘルパー希望家庭への導入が困難になったケースがありましたが、必要性が高い家庭には、養育支援訪問事業について情報提供を行い、利用について検討しました。 乳児家庭全戸訪問の結果や健診等で把握した支援が必要な家庭について、健康増進課内で検討を行い、必要な家庭に養育支援家庭訪問を実施しています。また、関係部署と連携が必要な場合は、随時情報共有し評価しながら対応や役割を明確にして対応しています。 乳幼児の人口増加に伴い、支援が必要な家庭も増加傾向にあるが、養育支援家庭訪問だけでなく他のサービスや支援につなげることもあり、養育支援訪問実施の実数は減少しています。						関係機関と連携し、支援の必要性が高い家庭に適切にサービス提供が行えるよう情報提供を行うとともに、利用希望者には適切な支援経過を作成し、安心して子育てができるよう支援します。 課内や関係部署との検討会を活用し、個々のケースの支援検討だけでなく、支援体制の整備や連携強化についても引き続き検討していきます。							

基本目標3 子どもが健やかに成長できる教育環境づくり

(1)子どもの人権の擁護

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標	令和2年度評価										
50	こどもの権利条約・児童憲章の周知・啓発 (指導課・子ども家庭課・障害者支援課)	<p>【指導課】人権週間等で意識を高めるだけでなく、子どもの権利や人権意識の定着のため今後も周知・啓発に努めます。また、流山市いじめ防止対策推進条例及び流山市いじめ防止基本方針を踏まえ、子どもたちがいじめに対する考え方を身に付けられるように、スクールロイヤー等による「自他とともに人権を守る大切さ」をテーマに『いじめ防止授業』を実施します。</p> <p>【子ども家庭課】児童の個性と権利を尊重するという考え方を社会に普及、定着させるため、児童の権利に関する理念の普及、啓発に努めます。</p> <p>【障害者支援課】関係課と連携を図り、相談支援を行う中で周知・啓発に努めます。</p>	A・B・C・D										
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
権利擁護に関する普及啓発		↑	↑	→	↑	↑	関係課との連携強化		↑	↑	→	↑	↑
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
児童の個性と権利を尊重するという考え方を普及、定着させるため、障害児を含めた虐待防止のパンフレット及び啓発物品の配布を行いました。また、個別支援会議への参加や関連するケースに関係課と連携して対応を行い、権利擁護を踏まえた相談支援を行いました。							障害児を含めた権利擁護のためのパンフレットを配布し、普及啓発を行います。また、関係課と連携を図り、相談支援を行う中で周知・啓発に努めます。						

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標	令和2年度評価										
52	相談・カウンセリング (子ども家庭課・生涯学習課)	<p>【子ども家庭課】児童・生徒・保護者がいろいろな問題について気軽に相談できるよう、相談事業の充実を図るとともに、必要であれば、カウンセリングが受けられるよう、関係機関との連携を強化します。子ども家庭課に心理士を配置し、カウンセリング等には至らないが心理的な側面からの相談にも対応できるようにします。</p> <p>【生涯学習課】青少年やその保護者たちが一人で悩まないよう、青少年専門相談員による電話、訪問、窓口での相談の充実を図ります。</p> <p>【指導課】スクールカウンセラーを配置し、支援・相談体制の充実を図ります。</p>	A・B・C・D										
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
相談件数(件)【生涯学習課】				81	—	70	—						
相談対応件数(延べ)【子ども家庭課】				14,230	—	—							
相談件数【指導課】		1404	1648	1774	→	→	教育支援センター活用人数(見学・体験含む延べ人数)		36	38	48	→	→
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
<p>相談者が相談しやすい雰囲気づくりや、言葉かけ等に配慮しながら適切なアドバイスや、相談内容によっては関係諸機関を紹介するなど、相談活動の充実に努めました。</p> <p>進路や将来に対する不安や焦り、親子関係の悩みなどを持つ青少年やその保護者からの相談が多かったことから、相談内容に柔軟に対応できるよう、研修会等への積極的な参加に努めました。</p> <p>生涯学習課及び生涯学習センターが主催する「子ども・親子向け講座」などのイベント情報を、広報ながれやま及び市ホームページに掲載し、広く周知しました。</p> <p>また、市主催以外のイベント情報についても、チラシの配架やポスター掲示を随時行いました。</p> <p>子どもや保護者に対して、心理士によるアセスメントや心理的側面からの助言を行いました。また、子どもや保護者が抱える課題等について、より専門的で継続的な支援が必要な場合は、医療機関等関係機関と連携・対応しました。</p> <p>カウンセラーによる教育相談を充実させ、学校や関係機関と連携した対応に努めました。</p>							<p>引き続き、広報ながれやま等を通して、相談事務を広く周知し、市民により多くの相談の機会を提供できるよう努めます。</p> <p>相談者の相談に適切に対応することで、よりよく解決できるよう支援します。また、継続相談では、必要に応じて学校や他機関との連携を図ることで、きめ細やかな対応に努めます。</p> <p>子ども・親子向け講座などのイベント情報について、引き続き、広報ながれやま及び市ホームページに掲載するなど、広く情報の提供に努めます。</p> <p>複雑多岐な家庭の問題に適切に対応できるよう、心理士によるアセスメントや心理的側面からの助言を活用し、相談・支援体制の充実を図ります。また、カウンセリング希望や必要性がある場合は、適切な機関・部署につなぎます。</p> <p>相談内容に合わせた対応を進めていけるよう、学校はもとよりスクールソーシャルワーカー等関係機関との連携を強め、支援・相談を進めていきます。</p>						

(2)教育環境の充実													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
56	幼児教育に関する研究・研修(指導課)	質の高い幼児教育が望まれているため、幼児教育の目的に応じた適切な指導が行われるよう、その研究・研修活動の支援の一層の充実を図ります。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
保幼小関連研究会回数		4	4	2	2	3	研究会参加人数(延べ人数)		262	302	149	→	→
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
保幼小関連研究会では、連携の在り方について、保育研究会では、「幼児教育を小学校につなぐ」をテーマに研究を行い、研修の充実を図ることができました。							幼児教育の目的に応じた適切な指導や保幼小の接続期における取組についてなど、研究・研修活動の内容の工夫改善に努め、支援を体制の充実を図ります。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
61	特別支援教育(指導課)	障害のある児童生徒一人ひとりの個性や能力を一層伸ばせるよう、交流教育を積極的に進めます。また、市のカウンセラーや関係機関と連携しながら障害の程度や本人・保護者の願いに沿った就学相談を行い、フォローをしっかりと進めます。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
就学相談件数		314	318	310	→	→	面談を重ね、本人・保護者の願いに沿った就学支援につなげた割合(%)		100	100	100	→	→
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
障害のある児童生徒一人ひとりの個性や能力を伸ばせるよう教育環境の充実に努めました。より良い就学相談の在り方を目指して業務内容について見直しを図ってきました。							障害のある児童生徒に対して、個に応じた教育課程を編成し、交流学級での学習もより充実させていきます。カウンセラーや関係機関との連携を深め、より適切な就学相談を目指します。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
64	絵本のふれあい体験の支援(図書館)	乳幼児や保護者、子育てにかかわる方が、絵本を通してふれあう場をつくることで、これからの子育てに役立つように支援します。また、乳幼児がいつでも、どこでも色々な絵本を楽しめるように、子育て関連施設へ乳幼児向けおすすすめ本セットを設置していきます。(おはなし しゅっぱつしんこう！)										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
ブックセット設置施設数		30	22	95	96	14	図書館全館(7館)乳幼児(6歳まで)の利用者数		9,520	10,456	11,641	11,740	12,914
絵本の購入冊数		1,967	1,335	1,935	1,950	924							
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
図書館司書がこどもの成長過程に応じて選んだおすすすめの絵本を手作りのケースに入れ、乳幼児向けブックセットを制作し、市内の子育て関連施設に設置しました。							既存の子育て関連施設への設置は完了したので、次年度では、新設した施設に絞った設置に取り組みます。本を通して乳幼児と保護者のコミュニケーションが図れる効果があり、本を親しむことのできる環境を整備していきます。						
(4)家庭の教育力の向上													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
69	家庭教育講座(公民館)	親が子どもの発達段階に応じた家庭教育の方法を身につけられるよう、専門の講師による講座等を開催します。さらに、企画運営への市民の参加を推進します。 ・乳幼児期の家庭教育講座										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
小中学校の講座実施回数		24	24	2	↑	↑	小中学校の講座参加者数		2,757	2,370	148	↑	↑
乳幼児期の講座実施回数		115	86	42	↑	↑	乳幼児期の講座参加者数		5,547	3,101	815	↑	↑
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
新型コロナウイルス感染症のため、学校が休講するなど企画運営への市民参加の活動が行えない地区が多く、公民館のホールを利用して市内小中学校の保護者を対象とした映画上映を行いました。乳幼児期の講座は、助産師、栄養士、保健師等を講師に迎え、定員を減らし、室内の換気や手指消毒等感染症対策を行いながら開催しました。双子等の講座では先輩ママにも参加いただき体験談等を気軽に聞けるような取組を行いました。							新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、引き続き市内各小中学校のPTAから選出された家庭教育準備委員と生涯学習専門員が講座を企画・運営し、親が子どもの発達段階に応じた家庭教育の方法を身につけられるよう、専門の講師による講座等を開催します。乳幼児期の家庭教育講座も定員を減らし引き続き専門の講師による講座等を開催します。						

基本目標4 子どもの安全を守る生活環境・体制づくり

(1)安全なまちづくりの推進													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和2年度評価		
85	公園の整備・充実 (みどりの課)	子どもが遊びを通して、健やかに成長できるよう、防犯面にも配慮した公園等の遊び場の整備・充実を図ります。公園施設の長寿命化計画を策定し、公園遊具施設の更新をはじめとした公園等の維持管理を計画的に行います。									A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
							公園緑地で憩い安らげると感じている市民の割合(%)			76.7	78.3	↑	79.9
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
既存公園の遊具を始めとした公園施設の安全点検・補修・更新を行いました。既存公園の複合遊具新設・更新を行いました。(おおたかの森東3号公園、南流山3号公園)既存公園の遊具を始めとした公園施設の安全点検結果を踏まえて、現場確認し、更新・補修を行いました。老朽化してきている遊具施設等の補修を計画的に行うようにします。						既存公園の遊具を始めとした公園施設の安全点検・補修・更新を行います。既存公園の複合遊具新設・更新を行います。公園を安全・快適に利用していただくため、老朽化してきている遊具施設等の補修を計画的に行います。							

(2)安心して外出できる環境の整備													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和2年度評価		
88	防犯対策の充実 (コミュニティ課)	防犯対策及び防犯の広報啓発に努めます。									A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
自主防犯パトロール隊の組織数(団体)		71	72	72	73	75	刑法犯認知件数(件)		1,164	1,039	986	1,000	950
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
警察や関係機関と連携し、犯罪抑止に努めるとともに、安心メールを活用して犯罪情報の発信を行い、被害の未然防止に努めました。						警察や関係機関と連携し、犯罪抑止に努めるとともに、安心メールを活用して犯罪情報の発信を行い、被害の未然防止に努めます。							

(4)子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和2年度評価		
94	関係機関、団体との情報交換 (コミュニティ課・保育課)	【コミュニティ課】子どもたちが事故や犯罪に遭わないまちづくりを推進するため、防犯灯の設置、警察、学校、自治会等関係機関・団体と連携し、地域ぐるみによる地域安全活動の充実に努めます。 【保育課】子どもの安心安全の確保を図るため、警察等の関係機関との連携を強めていきます。									A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
新規設置防犯灯数(灯)		345	345	380	400	400	刑法犯認知件数(件)		1,164	1,039	986	1,000	950
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
子どもたちが事故や犯罪に遭わないまちづくりを推進するため、防犯灯の設置をするなど、警察、学校、自治会等関係機関・団体と連携し、地域ぐるみによる地域安全活動の充実に努めました。						子どもたちが事故や犯罪に遭わないまちづくりを推進するため、防犯灯の設置をするなど、警察、学校、自治会等関係機関・団体と連携し、地域ぐるみによる地域安全活動の充実に努めます。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
97	安全管理の促進 (コミュニティ課・保育課・指導課)	<p>【コミュニティ課】安全管理を図るため、啓発活動を推進します。(安心メールの発信・犯罪発生状況の提供)</p> <p>【保育課】子どもの安全管理を促進するために、職場内研修を定期的を実施し、職員と保護者・関係機関との情報共有に努めます。</p> <p>【指導課】様々な災害、事故、犯罪に対して児童生徒の安全を確保していくために、今後も継続した学校等への啓発活動を実施します。</p>										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	
流山市安全パトロール隊隊員数(人)		44	34	31	40	31	犯罪に関して市内(自宅周辺)は安全だと感じる市民の割合(%) (まちづくり達成度アンケート)		58.7	60.4	60.2	61.0	61.0	
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
<p>警察や関係機関と連携し、市内の犯罪発生状況等を安心メールで配信するとともに、各自治会へ回覧依頼し、犯罪防止に努めました。</p> <p>不審者、部外者に対応するため保育所内で研修を行うとともに、保護者にも情報共有を図りました。</p>							<p>警察や関係機関と連携し、市内の犯罪発生状況などを自治会等へ提供して事業の継続を図り、犯罪防止に努めます。</p> <p>マニュアルに沿って防犯対策に取り組み、子どもの安全管理の徹底を図ります。</p>							

基本目標5 男女がともに仕事と子育てを両立できる環境づくり

(3)保育サービスの充実と多様化													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和2年度評価		
106	延長保育 (保育課)	就労形態の多様化や、通勤時間の長時間化に対応できるよう、保育時間の延長及び延長保育実施園の拡大を図ります。									A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
延長保育を実施している施設数		66	72	77	77	91							
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
新設の保育園について延長保育を実施することができました。						今後開設する園にも延長保育の実施を働きかけていきます。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和2年度評価		
110	病児・病後児保育 (保育課)	病氣中及び病氣回復期の乳幼児を一時的に預かる事業を推進します。事業推進に向けて、病児および病後児保育の実施施設を増設します。予約システムの導入を推進します。									A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
病児及び病後児保育実施園数		3	3	3	4	4	利用者数(延べ人数)		369	436	19	600	200
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
令和2年4月1日から「オハナゆめ保育園」で病児・病後児対応型を実施しました。多くの方が利用できるように、予約方法の見直しを検討しました。新型コロナウイルス感染症流行下において、その時々状況に応じた事業実施の検討が必要となります。						病児保育事業に電子申請を導入し、利用者の利便性を向上させます。新型コロナウイルス感染症流行下でも成立する事業展開を目指します。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和2年度評価		
112	障害児保育 (児童発達支援センター・保育課)	【児童発達支援センター】保育所等訪問支援、並行通園を行います。 【保育課】保育所を利用する園児がお互いの理解を深め協力しながらも育ていけるよう、統合保育や児童発達支援センターにおける保育所等訪問支援事業の推進に努めます。									A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
児童発達支援センター保育所等訪問支援契約者数		2	2	2	2	2	延べ利用人数		20	8	5	48	48
統合保育の実施園数		1	1	1	1	1							
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
障害児が属する集団に適切にすることができるよう障害児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な支援を、コロナ禍の状況のため訪問先の職員に助言を行う、間接的な方法で行って来ました。 統合保育の受け入れを行い集団保育によって園児同士の理解を深めることができました。並行保育を行っている園児については児童発達センターと連携を図ることができました。						感染状況をみながら障害児の身体及び精神の状況、属する環境等を適切に評価し、効果的な支援につながるよう努めていきます。 統合保育の周知を図り必要とされる児童へ保育の提供を行います。並行保育を行っている園児については引き続き児童発達支援センターと連携を図っていきます。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
113	学童クラブの活用 (教育総務課)	児童の受け入れ体制を拡充します。市主催の支援員研修を開催するほか、各種研修会への参加支援に努め、質の向上を図ります。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
研修会開催件数		3	2	1	2	2	学童クラブの延べ利用人数		20,095	25,440	26,186	30,000	30,000
							支援員の処遇改善のために支払った額 (千円)		11,455	20,404	18,099	22,400	20,000
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
令和2年度は学童クラブ支援員等の質の向上のため、市主催で研修を開催したほか、処遇改善のため、経験に応じて支援員に対する処遇改善のための費用の支払いを行いました。							令和3年度においても、学童クラブ支援員等の質の向上のため、市主催で研修を開催するほか、処遇改善のため、経験に応じて支援員に対する処遇改善のための費用の支払いを行います。						

基本目標6 保護が必要な子どもへの支援体制づくり

(1)児童虐待防止対策の充実													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和2年度評価		
115	子ども家庭支援拠点(支援拠点事業) (子ども家庭課)	子育てに問題を抱える家庭を支援していくために、専門職を配置した支援拠点の整備に努めます。									A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
心理担当支援員の配置				2	2	3							
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
常勤の心理担当支援員を1名配置したため、子ども家庭支援拠点の設置基準を満たすことができました。また、心理担当支援員2名体制(会計年度任用職員を含む)で心理アセスメントや、心理的側面から子ども及び保護者の支援を行いました。						相談件数の増加や内容の複雑化から、さらに心理担当支援員(会計年度職員)を1名配置し、子ども及び家庭に迅速かつ適切な支援をおこなっていきます。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和2年度評価		
117	虐待予防と早期発見 (健康増進課・子ども家庭課・保育課)	<p>【健康増進課・子ども家庭課】相談、健診、訪問指導等あらゆる機会における児童虐待の予防と早期発見に努めます。また、必要な児童に対しては、関係機関と連携し、支援の強化を図ります。さらに、育児ストレスや産後うつなどにより、子育てに不安を抱える家庭や虐待の恐れのある家庭に対して、保健師等の家庭訪問や、ヘルパーの派遣により、育児負担の軽減や諸問題の解決を図ります。</p> <p>【保育課】保育所と関係機関が連携し、指導・助言を行うなど、今後も未然防止に努めます。</p>									A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
新規児童虐待受付件数				444	—	—							
養育支援家庭訪問(実数)		15	19	8	→	→	産後ケア利用者アンケートで、利用目的に対する達成が満足とやや満足の回答割合	92%	96%	100%	100%	100%	
産後ケア利用者数(実数の合計)		33	29	31	→	→							
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
児童虐待の予防や早期発見のため、健康増進課の定例会議に参加し、家庭状況や支援方針について共有したほか、子ども及び家庭への適切な支援に向け、役割分担を行いました。						児童虐待の予防や早期発見のため、子ども及び家庭に関わる機関・部署と定期的に情報共有し、早期発見・早期対応に努めます。							
母子健康手帳交付時に面談することで、サポートが必要と思われる方に、妊娠初期から支援を行うと同時に、産後ケアなどの情報提供を行い、スムーズに産後の支援へつなぐことで、育児ストレスや産後うつなどの不安を抱える家庭の児童虐待の予防に努めています。また、健診や乳児家庭全戸訪問等で支援が必要な家庭を把握し、養育支援家庭訪問を実施し育児のサポートをしています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策緊急助成事業として実施した、育児支援等サービス料金の助成により、産後の大変な時期のサポートを行い育児負担の軽減を図りました。						次年度も引き続き、支援が必要な方を早期に把握し、適切なサービスや支援を提供するとともに、関係機関と連携し、児童虐待の予防に努めます。産後のサポートが必要な方がスムーズに支援につながるよう、適切な時期に情報提供ができるよう相談体制、事業の内容や時期を検討します。令和2年度・令和3年度に新型コロナウイルス感染症対策緊急助成事業として、実施している育児支援等サービス利用の助成については、コロナ禍に関わらず産後、周囲からのサポートを得られない方の育児不安や育児負担の軽減のため、継続を検討します。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
118	虐待に関する相談の充実 (子ども家庭課・生涯学習課・指導課)	<p>【子ども家庭課】職員等の専門性のスキルアップを図り、家庭児童相談員及びケースワーカーによる児童虐待に関する相談や指導を行いながら、緊急避難体制づくりや啓発事業を推進します。</p> <p>【生涯学習課】青少年やその保護者たちが一人で悩まないよう、青少年専門相談員による電話、訪問、窓口での相談の充実を図ります。</p> <p>【指導課】教育相談から得られる情報を関係機関と共有し、相談体制や啓発事業の充実を図ります。</p>										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
児童福祉司資格取得講習受講者数				1	1	1	児童福祉司任用資格取得者数					4	4	5
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
<p>教育相談においては丁寧な聞き取りを行った上で面談要保護児童対策地域協議会に出席し、関係機関との連携の強化を図りました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で、中止となった研修もありましたが、オンライン等で県が主催する研修・講習会に積極的に参加し、スキルアップを図りました。また、広報紙やホームページを利用し、様々な形態の相談先を案内しました。</p>							<p>スクールカウンセラーとの情報共有を密にしながら教育相談を丁寧に実施するとともに、要保護児童対策地域協議会での情報を共有し、関係機関との連携を強化し適切な対応に努めます。</p> <p>研修・講習会に積極的に参加し、児童虐待に適切に対応できるよう職員の専門性やスキルアップに努めます。また、広報紙やホームページ等により、相談先を啓発します。</p>							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
119	児童虐待防止のための連携強化 (障害者支援課・健康増進課・児童発達支援センター・子ども家庭課・保育課・指導課)	<p>児童虐待に対応するため、要保護児童対策地域協議会を中心として、民生児童委員、主任児童委員などの地域住民や医療機関、また児童相談所、警察等の関係機関との連携の強化を図ります。</p>										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
個別支援会議の開催				53	↑	↑	児童の安全確認実施率(%)					97.8	↑	↑
要保護児童対策地域協議会への参加		12	12	12	12	12	関係機関との連携強化			→	↑	→	↑	↑
要保護児童対策地域協議会実務者会議等に出席し関係機関との連携をとって情報共有を図ります。		→	→	→	→	→	当センターを利用している要保護児童及び保護者への支援を実施しました。			→	→	→	→	→
要保護児童対策地域協議会の参加回数		12	12	12	12	12								
子ども家庭課とのケース検討会議の回数		8	12	9	12	12								
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
<p>児童虐待の通告があった際には、関係機関の協力のもと速やかに児童の安全確認を行いました。また、要保護対策地域協議会での個別支援会議や関係機関への訪問等により、子どもや保護者に関りのある機関・部署と連携し、児童虐待の進行予防や対応を行いました。</p> <p>関係機関との連携強化のため、要保護児童対策地域協議会及び個別支援会議へ参加し、情報共有や支援方針の確認、役割分担等を行い連携を図りながら対応しました。</p> <p>要保護児童対策地域協議会実務者会議等に出席し関係機関との情報共有を図りました。また、児童虐待が疑われる当センターの利用者の情報を子ども家庭課と共有を図り保護者への支援につなげていきました。</p> <p>児童生徒の生命を守ることを最優先に考え、関係機関との連携強化を図りました。</p> <p>要保護児童対策地域協議会に担当者が出席、各ケース会議には地区担当が出席し、情報共有を図り関係機関との連携を強化してきました。コロナウイルス感染症の拡大に伴い、子ども家庭課とのケース検討会は3回中止となりましたが、子ども家庭課と情報共有や同行訪問は継続して実施しました。またその他の母子に関係する機関とは積極的に情報を共有し、関係者同士の連携に努めました。</p>							<p>関係機関等へ要保護児童対策地域協議会の活動理解を深め、児童虐待に対して迅速な対応が行えるよう努めます。また、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、個別支援会議を積極的に活用し、関係機関との連携を強化します。</p> <p>要保護児童対策地域協議会に継続して参加し、対象児童の情報共有を行うとともに、関係機関との連携強化及び役割分担を行います。</p> <p>今後も関係機関との連携をとりながら情報共有を図り、より効果的な対応ができるように努めます。</p> <p>今後も関係機関と情報を共有しながら、連携をさらに深めることにより、適切な対応ができるように努めます。</p> <p>児童虐待に対応するため、要保護児童対策地域協議会を中心として、民生児童委員、主任児童委員などの地域住民や医療機関、また児童相談所、警察等の行政機関との連携の強化を図り、支援体制の構築に努めます。</p>							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価			
120	社会的養育の推進 (子ども家庭課)	虐待等の様々な事情により保護者と暮らすことができない子どもを、できる限り家庭的な環境で養育するため、県と連携し里親制度の普及・啓発を行います。										A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標				H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
啓発活動の実施		—	—	2	2	2									
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み								
10月の里親啓発月間には広報紙へ掲載、11月の児童虐待防止啓発月間には児童虐待防止の啓発パネル展示と共に、里親啓発のポスター掲示を行いました。							引き続き、10月の里親啓発月間には広報やポスター掲示により、里親制度の普及・啓発活動を行います。								

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価			
126	療育指導・機能訓練 (障害者支援課・児童発達支援センター)	【障害者支援課】障害のある児童の自立のため、障害児通所支援事業により、障害児相談支援、児童発達支援、保育所等訪問支援及び放課後等デイサービスなどの事業を実施します。 【児童発達支援センター】集団・個別療育、機能訓練を実施していきます。										A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標				H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
障害児通所支援事業所数		20	20	26	24	27	障害児通所支援事業所延べ利用者数				5,815	7,005	7,844	8,336	11,228
PT(理学療法)・OT(作業療法)訓練 外来実人数		45	57	51	57	54	PT(理学療法)・OT(作業療法) 延べ利用人数				556	587	549	587	587
外来療育実人数		32	33	14	33	15	外来療育延べ利用人数				256	377	139	377	166
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み								
障害児通所支援サービスが必要な児童に対し、サービス提供に係る事業を実施し、自立への促進を図りました。 (PT・OT)新型コロナウイルス感染症対策を講じながら個別に機能訓練をとおして児童の運動発達を促すことや感覚運動機能の向上を図ってきました。 (外来療育)1クラス当たりの人数を5人までに制限して接触機会を減らすなどの感染症対策を講じてきました。 集団活動をおして児童の全体的な発達を促す支援を行ってきました。また、親子で通うことで、児童との関わり方や保護者どうしのつながりなど、保護者支援を行ってきました。							障害児通所支援サービスが必要な児童に対し、適切な支援が提供できるよう体制を整備します。 (PT・OT)利用者の健康を第一に感染症対策を講じながら、個別に機能訓練をとおして児童の運動発達を促すことや感覚運動機能の向上を図っていきます。 (外来療育)利用者の健康を第一に感染症対策を講じながら、集団活動をおして児童の全体的な発達を促す支援を行っていきます。また、親子で通うことをとおして保護者支援を行っていきます。								

(4)子どもの貧困対策の推進													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和2年度評価		
129	居宅訪問型児童発達支援 (児童発達支援センター)	通所による児童発達支援の利用が難しい障害児の居宅を訪問し療育支援を実施します。									A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
居宅訪問型児童発達支援利用実人数		—	0	0	1	1	延べ利用人数		—	0	0	12	12
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
令和元年度から新規事業として加えましたが、現在までのところ利用申込がなかったため利用実績は0でした。						相談支援の中でサービス利用につなげていくように努めます。またサービスを必要とする方に適切な情報が届けられるよう関係機関との連携を図っていきます。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和2年度評価		
130	子どもの貧困対策 (子ども家庭課)	生活保護世帯、ひとり親世帯の子どもへの学習支援や日常生活を身に付けるための支援を行い、子どもが健全に育成される環境を整えながら子どもの貧困の連鎖の防止に向けた取り組みを行います。									A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
利用者数		—	34	57	↑	↑	学習の習慣がついたと回答した児童数(%)		—	70	63	↑	↑
協力塾数		—	24	42	↑	↑	希望通りの高校に進学できたと回答した児童数(%)		—	78	80	↑	↑
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
令和2年度においては、児童扶養手当の現況時に直接学習支援事業の周知・案内を行うことで、利用者数の増加につながりました。						令和3年度からは、対象者を中学校2年生及び中学校3年生に拡大し、生活保護世帯、ひとり親世帯の子ども学習環境の整備に努めます。また、引き続き児童扶養手当現況時に直接、周知・案内を行い、利用促進を促します。							